

【平成29年度】
「第20回 げんでん科学技術振興事業」 実施要領

(公財)げんでん ふれあい茨城財団

1. 趣 旨

茨城県内の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校から児童・生徒の科学技術に係る調査・研究計画を公募し、優れた計画に対し助成するとともに、優秀な調査・研究成果に対し、「科学技術振興大賞」及び「同奨励賞」を授与することにより、明日を担う児童・生徒の科学技術に関する独創性と豊かな創造性の育成を図る。

2. 主 催 (公財)げんでん ふれあい茨城財団

3. 特別共催 (株)茨城新聞社

4. 後 援 茨城県教育委員会、茨城県教育研究会、茨城県高等学校教育研究会、
NHK水戸放送局

5. 応募資格

茨城県内の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校の学校単位(児童・生徒のグループ、学級、部活動、同好会等)

6. 調査・研究の対象

- (1) 小学校・中学校の部においては、理科を対象とする。
 - (2) 高等学校の部においては、物理、化学、生物、地学、工業、農業、水産及び自然科学に関するものを対象とする。
- ※なお、同じテーマでの継続については、発展性のある研究計画であること。

7. 応募方法

- (1) 応募は、指導教諭を通し校長推薦により行うこと。応募件数は、1校で2件までを可とする。
 - ・定時制を有する高等学校は、全日制、定時制別に2件までの応募を可とする。
 - ・他機関が実施する理科・科学作品展等に応募を予定している場合でも、重複して応募可。
- (2) 応募は、記載例－1に基づき、別紙の所定書式(A4サイズ・両面様式)により調査・研究計画書を作成(両面で1枚以内を厳守)し、平成29年5月17日(水)までに財団事務局に送付すること。
- (3) 調査・研究計画書は、学校長印を押印のうえ送付すること。

〔提出先〕 〒319-1198

那珂郡東海村白方1-1 日本原子力発電(株) 東海事業本部 地域共生部内
(公財)げんでん ふれあい茨城財団事務局 宛

8. 応募期間

平成29年4月1日(土)から平成29年5月17日(水)(必着)

9. 調査・研究の内容

理科をはじめとする理系各科目の学習やクラブ・部・同好会等の活動及び日常生活等を通して捉えた疑問や関心からの調査・研究が望ましく、実施については、自然科学の探究の手順に則り、創意工夫と研究の積み上げがなされ、複数の児童・生徒が自主的に進められるものであること。

また、まとめについては、資料をよく精選し、写真や図表を活用し、客観的で正しい結論を得ているものを、児童・生徒の発想でまとめたものであること。

10. 助成対象校の選考及び内容

- (1) 助成対象校は、原則として20校程度とするが、小学校・中学校・高等学校の部毎に、応募校数に応じて選考する。いずれの場合も特別支援学校を含むものとする。
なお、助成は1校につき1件とする。
- (2) 選考は、茨城県教育庁、茨城県教育研究会理科教育研究部及び茨城県高等学校教育研究会の協力を得て、選考委員会を設置して行う。
- (3) 選考委員会により、助成校に選ばれた学校に対しては、校長に通知の上、助成金(5万円)を支給する。

11. 調査・研究成果の提出及び科学技術振興大賞並びに同奨励賞の授与

- (1) 助成を受けた児童・生徒のグループは、調査・研究計画書に基づき、調査・研究を行い、その成果を記載例－2に基づき、応募に用いた所定書式(A4サイズ・両面様式)の調査・研究成果概要に取り纏め(計画を含め両面で2枚以内を厳守)、平成29年10月20日(金)(必着)までに財団事務局に提出すること。また、児童・生徒の取り組み状況や努力が分かるような主論文及び活動日誌・データ等を必ず同月末までに提出すること。(提出が遅れたときは、選考対象外となります。)
- (2) なお、調査・研究報告書等が上記の各期限までに提出されないときは、大賞等の選考対象外になるとともに、場合によっては支援金の返還を求める場合がありますのでご注意ください。
- (3) 調査・研究の成果については、選考委員会において選考し、原則として、『げんでん科学技術振興大賞』(賞状及び奨励金(5万円)等)を小学校・中学校・高等学校の部各1校に、『げんでん科学技術振興奨励賞』(賞状及び奨励金(3万円)等)を小学校・中学校の部各2校・高等学校の部1校に授与する。
なお、表彰式(12月上旬予定)において、大賞受賞校は調査・研究成果等の発表を行うものとする。

以上

【問い合わせ先】

(公財)げんでん ふれあい茨城財団事務局
関根・佐藤・大内
電話: 029-287-1251
FAX: 029-287-1253